

れんげい



和束町

笠置町

南山城村

もくじ

当初予算	2
むらまち情報<和束町>	4
むらまち情報<南山城村>	7
むらまち情報<笠置町>	10
きょういく	13
地域情報	18

第74号

2012.5

協働のまちづくりをめざして

～役場が変わればまちが変わる～

『みんなで町のお宝さがし
 ～協働のまちづくり～』
 早稲田大学大学院公共経営研究科教授
 北川正恭



湯船森林公園



和束町社会福祉センター

この日朝から湯船森林公園では、北川教授も参加され「命の里事業」の一環としてあじさいの植樹が行われました。

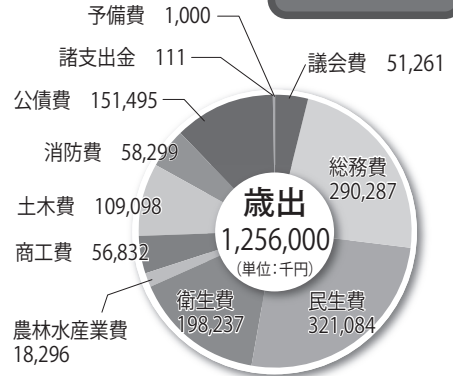
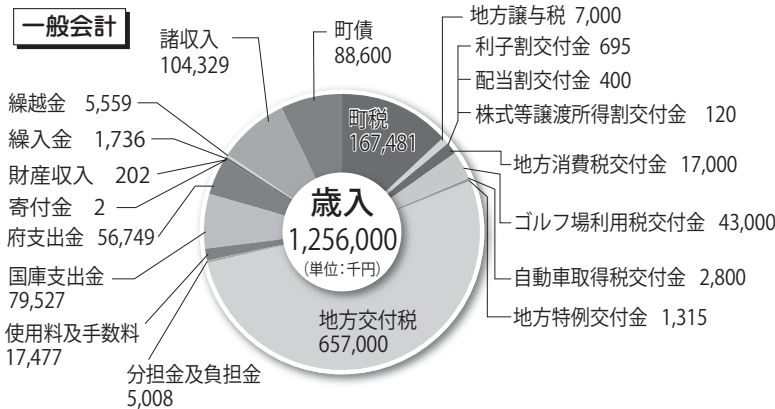


昨年6月、「和束町」と「早稲田大学マニフェスト研究所」は将来に向け大きくはばたくまちづくり・ひとつくりを進めることについて連携・協働することに合意し、「早稲田大学大学院公共経営研究科」並びに「京都府」の協力を得て、『和束町と早稲田大学との連携・協働に関する基本協定』を締結し、地域社会の活性化、ひとつくりに取り組んでいます。この取り組みを記念して3月20日、北川正恭早稲田大学大学院教授に『みんなで町のお宝さがし～協働のまちづくり～』と題して記念講演を行っていただきました。講演では、役場が変わらなければ住民は変わらない、他人を変えるのではなく自分を変えることが大切と話されていました。

平成24年度 予算概要

笠置町

一般会計



平成24年度一般会計当初予算

12億5,600万円

平成24年度の一般会計予算ほか4特別会計予算が2月の定例議会で可決されました。

骨格予算のため、一般会計と4特別会計を合わせた予算の総額は18億1,457万1千円で前年度に比べ4.3%の減率、8,057万9千円の減額となっています。

笠置町における平成24年度の特徴

平成24年度の笠置町の一般会計の予算額は、3月に町長選挙が控えていたことから骨格予算として編成し、前年度に比べて5.9%減となりました。

主な事業としては、土木費では平成16年度からの継続事業となっている町道笠置山線改良事業に8,000万円、商工費では夏まつり事業補助金として400万円など計上しています。

また、相楽郡広域事務組合を含む6つの一部事務組合等に対して、2億1,246万4千円を負担しています。

新規事業等政策的経費については、6月以降の補正予算等で肉付けされます。

～ずっと暮らしたい 活力と交流の茶源郷和束をめざして～

和束町

和束町一般会計予算 30億2,300万円

平成24年度和束町一般会計他6特別会計予算が3月の定例議会で可決されました。一般会計予算は町税等自主財源が減少傾向にありますが、13年ぶりの30億円台の予算となり、また、一般会計と6特別会計の予算総額は、46億5,911万円で、対前年度3.3%増となっています。

主 な 事 業

●防災同報無線整備事業

本年度から2カ年計画で防災対策として、各家庭に個別受信機を設置し、また屋外で作業中でも情報が得られるように拡声機を取り付けることとします。

●路線バス利用促進運賃補助事業

昨年度に引き続き、路線バスの利用促進と負担軽減を図るため、実証実験をさらに1年延長し、加茂～小杉間のバス運賃を上限300円とします。

●子育て支援(医療費の無料化)事業

子育て支援対策として、中学校卒業までの子どもの医療費を無料にします。

●門前橋整備事業

安心安全なまちづくりをめざし、老朽化した門前橋の架け替え事業を行うこととします。

●高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

いつまでも元気で生き生きと暮らすことができるよう予防接種の助成を行うこととします。

●茶源郷和束農業体験施設整備事業

交流人口の拡大と活力あるまちづくりをめざして、ガラスハウスを改修し野菜の栽培等を体験してもらう農業体験施設を整備することとします。

●茶園環境改善補助事業

基幹産業の茶の振興を図るため、茶園の被覆棚施設の設置に対して補助することとします。

平成24年度 南山城村一般会計当初予算

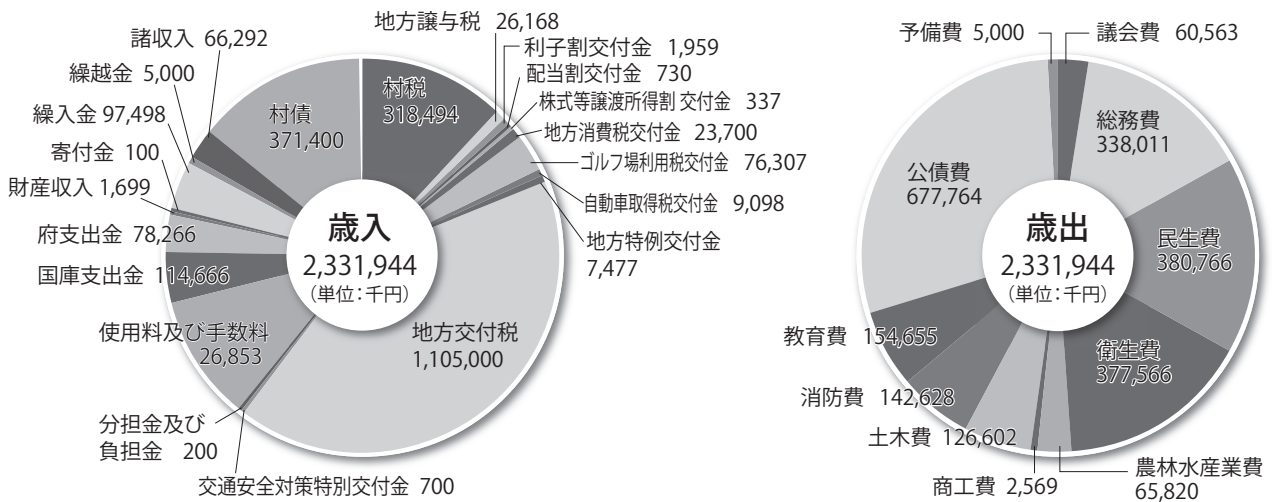
南山城村

23億3,194万円

平成24年度の一般会計予算ほか5特別会計が2月開催の定例議会で可決されました。一般会計と5特別会計を合わせた予算の総額は、34億9,093万1千円で前年度に比べ1.1%の増、3,794万円の増額となっています。

一般会計

一般会計の予算規模は、前年度に比べ0.7%減の1,646万3千円の減額となりました。4月からこの予算に基づいて新年度事業を展開していきます。

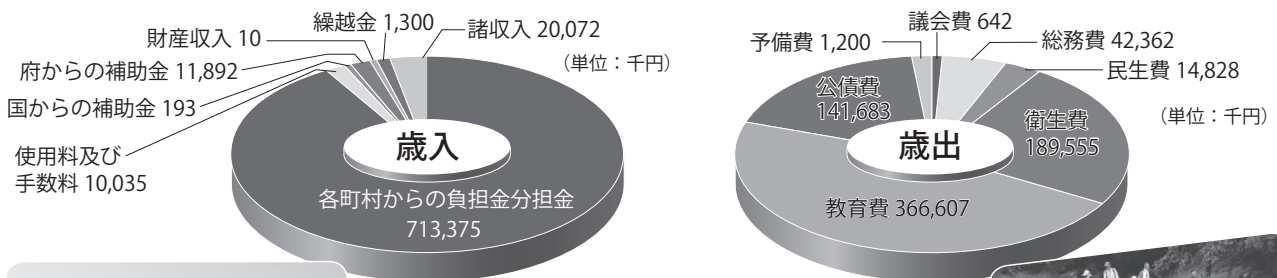


平成24年度 相楽東部広域連合予算

広域連合

7億56百877千円

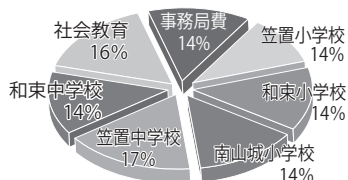
相楽東部広域連合では、主に相楽東部クリーンセンター運営、笠置・和東・南山城の3小学校、笠置・和東2中学校、そして2町1村の社会教育（生涯教育）事業を行っています。



教育委員会が統合され3年が経過しました。学校教育では、3小学校で行われていた陸上交歓記録会を本年度から各小学校のグラウンドではなく、太陽が丘の陸上競技場で本格的な施設で行います。

- 特色ある学校づくりという観点から、小・中各校が課題を設け、1年を通じその課題に取り組みます。

(生涯学習、各学校予算、事務局費の割合)



昨年は笠置を歩きました。今年には南山城村を歩きます。

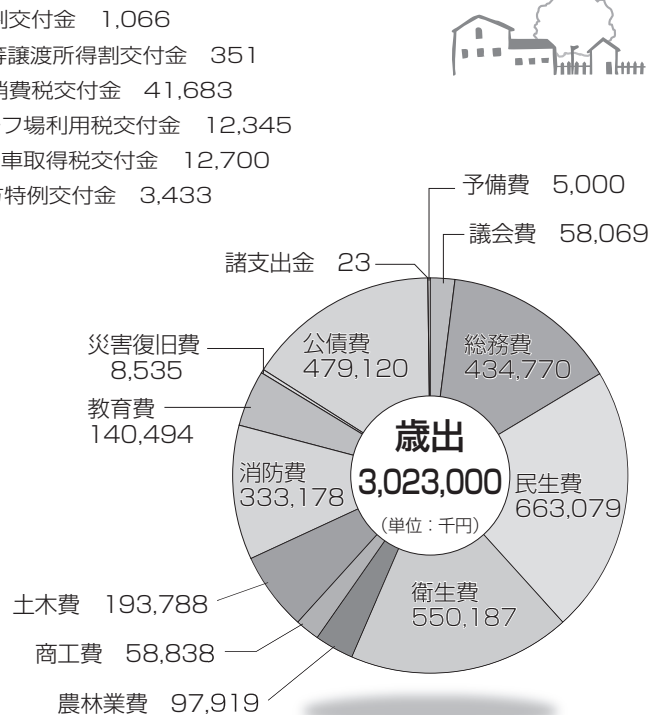
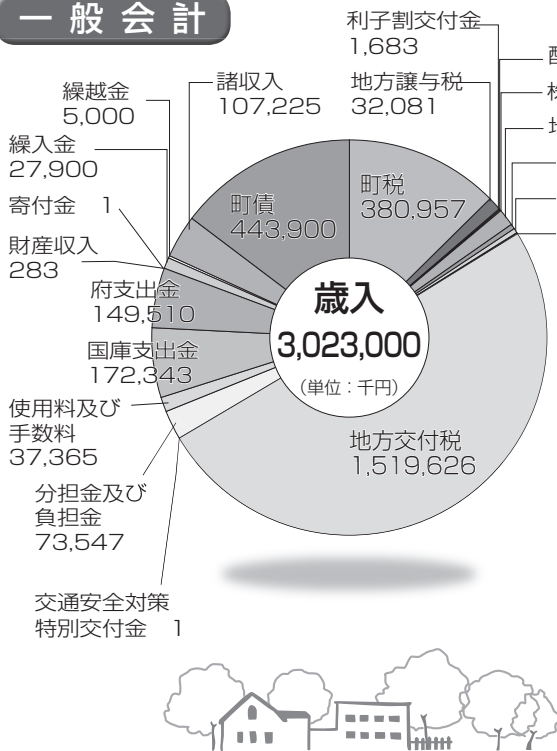
- 社会教育事業は、主に人権・文化・青少年育成に取り組みます。各種講座を町村枠を越え開催、参加しやすい事業を行います。

平成24年度 和東町一般会計当初予算 30億2,300万円

(単位：千円、%)

会計区分	平成24年度予算額	平成23年度予算額	比較増減額	増減率
一般会計	3,023,000	2,809,000	214,000	7.6
特別会計	1,636,110	1,701,340	△65,230	△3.8
湯船財産区特別会計	8,160	7,540	620	8.2
国民健康保険特別会計	715,900	724,900	△9,000	△1.2
(事業勘定)	628,000	636,400	△8,400	△1.3
(直営診療施設勘定)	87,900	88,500	△600	△0.7
簡易水道事業特別会計	141,200	151,000	△9,800	△6.5
下水道事業特別会計	187,400	246,200	△58,800	△23.9
介護保険特別会計	528,650	519,000	9,650	1.9
(保険事業勘定)	524,700	515,300	9,400	1.8
(サービス勘定)	3,950	3,700	250	6.8
後期高齢者医療特別会計	54,800	52,700	2,100	4.0
合計	4,659,110	4,510,340	148,770	3.3

一般会計



特別会計

和東町では下水道使用料や保険代などの事業収入を下水道や国民健康保険など特定の事業支出にあてるために6つの特別会計を設置し、一般会計と区別して予算化しています。

TEA TALK



あじさい四〇〇本植樹

湯船森林公園内

この事業は、京都府の「命の里事業」に取り組む湯船活性化対策協議会が策定した「里力再生計画」に基づいて三月二十日に行われました。

この日は、湯船区民をはじめ、この植樹を提案した早稲田大学マニフェスト研究所(代表北川正恭教授)やモデルフォレスト事業に取り組まれている三洋化成工業株式会社のみなさんも参加されました。

この日の朝は冷え込んだものの晴天に恵まれ、植樹が始まる午前十時ごろには気温も上昇し作業が行われた約二時間、湯船区と企業のみなさんとの交流も図れ和気藹々といった雰囲気にもなっていました。また傾斜のある場所での植樹は、悪戦苦闘されていました。が、いい汗を流すことができたようです。



400本のあじさいが咲く時の再会を願って……

湯船森林公園は、これからさらに豊かな農山村景観を生かし、地域住民の憩いと楽しみの場であるとともに、都市住民との交流をめざしてより多くの来園者の増加を図っていきます。この春の新緑の季節が終わると梅雨期の風物詩として四〇〇本のあじさいが訪れた人たちの心を和ませてくれるでしょう。

来場者四〇〇人

第十回和東町人権フェスティバル

三月十一日(日)、「第十回和東町人権フェスティバル」が人権ふれあいセンターと周辺施設で開かれました。また、この日は、去年の東日本震災から一年を迎えることから、開催前に黙とうがささげられ幕が開きました。

この人権フェスティバルは、「和を束ねみんなで作る人権のまち」をメインテーマに人権の世紀といわれる二十一世紀を真の人権の世紀にと、人権を身近に考え、人権感覚を育み、人権尊重の町につなげていくことを目的に町内二十の団体で実行委員会を組織し行われ、四〇〇人をこえる来場者がありました。

二階大ホールでは、和東保育園の歌や世界的神技パフォーマンスの「ちゃんへん」さんのジャグリングや中国こまを使ったパフォーマンス、最後には、ラップまで披露され、大きな拍手が送られていました。

午後からは、式典が開かれ、堀実行委員長から式辞、竹内議会議長から来賓祝辞が述べられました。式典の後は、ファミリー劇団侍による歌謡舞踊ショーと大衆演劇が行われ、特に芝居仕立ての「瞼の母」



では、映画やテレビでお馴染みの感動シーンで、感極まって涙を流す観客も多く、参加されたみなさんも、改めて人と人、親と子の絆の強さと大切さを感じていたようでした。今回のフェスティバルは例年以上の大盛況で、各団体による模擬店も多くの人で賑わい、参加されたみなさんは、「良かった、楽しかった、来年もまた来たい。」などと感想を話され、歌や音楽、演劇をおしてさまざまな人権にふれる一日となったようです。

和東町

より一層便利になりました

窓口での支払いが不要となりました

中学校卒業まで医療費無料です

四月一日から子育て支援医療費助成制度の受給者証を提示することで医療費を支払う必要がなくなりました。

和東町では平成二十三年四月一日から中学校卒業までの医療費を入院・通院ともに無料化としておりましたが、いずれも医療機関で一部負担金をお支払いいただき、後日申請により医療費をお返しする事務処理でしたが、今年四月一日から京都府内で受診した保険適用分の入院・通院については受給者証の提示により医療費を支払う必要がなくなりました。



■問合せ 税住民課保険年金係
■電話 ○七七四一七八―二〇〇一

(内線二二二)

平成二十四年度

和東町消防団員 部長以上の役員

【本部】	団 長 榎谷正樹	副 長 岡田周一	副 長 谷本昌隆	分 団 長 田中雅久	副 分 団 長 前田 穰
【東分団】	分 団 長 堀 幹幸	副 分 団 長 岡田晃年	一 部 長 中屋 恵造	二 部 長 杉本 治	三 部 長 杉本 新太郎
【西分団】	分 団 長 吉田研二	副 分 団 長 竹谷智志	一 部 長 西田 祥史	二 部 長 杉田 太久美	三 部 長 大西 智範
【湯船分団】	分 団 長 田中雅久	副 分 団 長 前田 穰	一 部 長 小西博之	二 部 長 柚木高史	三 部 長 大谷 毅
【中分団】	分 団 長 辻 由典	副 分 団 長 大西 勝幸	一 部 長 稲垣清満	二 部 長 大西清	三 部 長 大西 智範

人事異動

平成二十四年四月一日付
() 内は前職名

【異動】 ※係長以上の異動を掲載 議会议務局長兼庶務係長事務取扱(議会议務局長) 大西峰夫▽税住民課住民担当課長兼保険年金係長事務取扱兼住民戸籍係長事務取扱(税住民課住民担当課長兼保険年金係長事務取扱) 北芳美▽建設事業課主幹兼建設係長事務取扱(農村振興課長補佐兼茶業係長事務取扱) 東本繁和▽農村振興課主幹兼茶業係長事務取扱(総務課長補佐兼行政係長事務取扱) 竹谷 秀俊▽総務課長補佐(総務課長補佐兼財政係長事務取扱) 草水清美▽地域力推進課長補佐兼企画係長事務取扱(地域力推進課長補佐) 竹谷正則▽総務課長補佐兼庶務係長事務取扱(農村振興課商工観光係長) 細井隆則▽総務課行政係長(議会议務局庶務係長) 島川昌代▽農村振興課商工観光係長(税住民課住民戸籍係長) 久保寿己▽総務課財政係長(総務課庶務係長) 北卓也▽建設事業課上下水道係長(地域力推進課企画係長) 吉田寿▽【出向・派遣】 相楽東部広域連合派遣勤務(建設事業課上下水道係長) 北広光▽京都府地方税機構派遣勤務(税住民課主事) 仲辻悟志▽京都府出向(総務課主事) 山村誠【新規採用】 地域力推進課主事 宅間奈々▽建設事業課主事 田中秀一▽建設事業課主事 補上嶋佳恵▽【退職者】(三月三十一日付)建設事業課長補佐兼建設係長事務取扱 田中徹▽建設事業課主事 曳原健

南山城村における平成24年度当初予算の特徴

歳入面での主な内容は、労働力人口の減少等に伴う村税の減少(11,392千円減)、借換債発行の減少に伴う村債の減少(88,100千円減)、財政調整基金の取崩の増加(20,418千円増)等となっています。

歳出面につきましては、昨年に引き続き「住んで良かった」と思っていたいただける村づくりに取り組んでいきます。

主な内容は、地域活性化等の活動を支援する魅力ある村づくり事業(500千円)、NPO法人の活動を支援する駅舎活性化事業(4,580千円)、中学生までの医療費を無料化する子育て支援医療支給事業(4,494千円)、南山城村への定住促進のための田舎暮らし促進奨励金(2,000千円)、農作物被害対策としての野生鳥獣被害総合対策事業(5,975千円)等を計上しています。

また、東日本大震災を教訓に防災対策の強化にも取り組みます。このため危険箇所点検事業(2,489千円)、避難箇所及び経路を示す防災マップ等見直しや備蓄品購入(9,759千円)、住宅・建築物耐震改修事業(4,980千円)をそれぞれ計上しています。

ハード事業では、道路整備事業(法ヶ平尾立石線、大河原東和東線、今山新道線、月ヶ瀬団地4号線他)、合併処理浄化槽設置補助等を実施します。

●会計別予算

(単位：千円、%)

会計区分	平成24年度予算額	平成23年度予算額	比較増減額	増減率
一般会計	2,331,944	2,348,407	△ 16,463	△ 0.7
特別会計	1,158,987	1,104,584	54,403	4.9
国民健康保険特別会計	548,542	540,402	8,140	1.5
簡易水道事業特別会計	225,348	194,536	30,812	15.8
老人保健特別会計	0	0	0	0.0
後期高齢者医療特別会計	42,612	38,748	3,864	10.0
介護保険特別会計	257,433	246,040	11,393	4.6
(保険事業勘定)	256,296	244,903	11,393	4.7
(介護サービス事業勘定)	1,137	1,137	0	0.0
高度情報ネットワーク特別会計	85,052	84,858	194	0.2
合計	3,490,931	3,452,991	37,940	1.1

南

山城村議会議員 一般選挙の結果

三月二十五日に南山城村議会議員一般選挙が行なわれ、次の方々が当選されました。

村議会議員一般選挙(得票順)
投票率 八一・八〇%

1	新田 晴美	2	梅本章一
3	北 猛	4	青山まり子
5	橋本 洋一	6	吉岡 克弘
7	中村富士雄	8	中嶋 克司
9	廣尾 正男	10	徳谷 契次

四月五日、平成二十四年第二回南山城村議会臨時会が召集され、議長・副議長及び各委員会委員が次のとおり選出されました。

議長	新田 晴美
副議長	北 猛
監査委員	梅本章一
総務厚生常任委員会	
委員 長	北 猛
副委員 長	青山まり子
土木経済常任委員会	
委員 長	中嶋 克司
副委員 長	橋本 洋一
議会運営委員会	
委員 長	青山まり子
副委員 長	梅本章一
議会広報編集委員会	
委員 長	梅本章一
副委員 長	中嶋 克司

災

害時における
 応急対応策等
 に関する協定
 書調印式が行
 われました

四月十七日、南山城村は株式会社キタモリ(伊賀市)と、大規模な災害が発生した場合、緊急車両の妨害となる車両などの排除や救急搬送など緊急時の対処策として「災害時における応急対応策等に関する協定」を締結しました。今後、近畿圏内でも、「東南海・南海地震」等の可能性も予測されています。

この協定が、南山城村の減災に向けての取組の一つとして役立つものと考えています。



気

持ちを新たに

平成二十四年度
 南山城村消防団任命式

四月八日(日)、やまなみホールで消防団任命式が行われました。式典では、北久保団長から新入団員に任命書の交付があり、十五名の新入団員代表として、第一分団第一部の岡本剛さんが宣誓書を読み上げました。今後のご活躍をご期待申し上げます。

また、永らく勤務いただき退団されました幹部役員は左記の方々です。大変お疲れさまでした。

- 前役員 氏名(敬称略)
- 副団長 森川 一志
 - 指導員長(分団長) 森道 誠司
 - 第二分団分団長 大西 一也
 - 第一分団副分団長 池田 晴彦
 - 第二分団副分団長 福仲日出男

南山城村消防団幹部役員(敬称略)

団長	北久保 浩 司
副団長	垣谷 克彦
〃	木村 宣巳
指導員長	山本 克巳
(第一分団)	
分団長	森嶋 昭次
副分団長	柴垣 紀行
〃	清水 昌典
〃	蛭川 尚典
第一部長	竹内 聖典
第二部長	上田 範之
第三部長	橋本 健一
第四部長	西山 英男
第五部長	森本 勝也
第六部長	山本 寿文
第七部長	横畑 浩二
(第二分団)	
分団長	吉住 公宏
副分団長	南 和昇
〃	西上 和利
第一部長	大久保 卓司
第二部長	仲田 裕司
第三部長	奥仲 健二
第四部長	兜 岩知

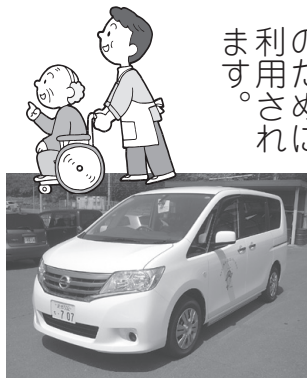


今後新体制のもと、団員一致団結して南山城村の生命・財産を災害から守っていきます。



宝

福祉助成で
福祉車両
2台を購入



（財）自治総合センターの
コミュニティ助成事業
（共生の地域づくり助成
事業）を活用
し、福祉車両
2台を購入し
ました。
今後、高齢
者や身体障害
者のみなさま
のために
利用され
ます。



桜

の植樹を
行いました

「緑の募金でふせごう地球
温暖化」をスローガンに、



府道月ヶ瀬今山線道路端に植樹

三月十八日、田山地区の櫻会
のメンバーが、緑化センターよ
り苗木の配布を受け、ヤエザク
ラ十八本、ヤエベニシダレ二本
を植樹されました。
苗木は数年もすれば花見を
楽しめるように成長するそう
です。また、さつき、あじさいも
同時に植樹されました。
櫻会は平成十六年に発足さ
れ、会長の枘田正彦さん（田山）
はじめ二十五人のメンバーで緑
化活動をされています。
枘田会長と発起人の小西郁夫
さん（田山）は、「これからも
地域の方々や子どもたちが花見
を楽しんでもらえるよう、憩い
の場を作っていききたい。」と話
しておられました。

神

社庁表彰受ける

三月二十九日、京都府神社庁
設立六十五周年・京都府神社
総代会設立五十五周年記念大
会がホテルグランピア京都で
開催され、当村田山地区の諏
訪神社で楽人を務める松本隆
久楽長、稲置昭氏、柳田裕文氏、
川端重富氏が崇敬者表彰を受
けられました。



表彰を受けられた四名は、昭
和四十七年に伊勢神宮で一週
間の厳しい指導を受け、四十
年間楽人を休むことなく続け
られ、年間七回の祭典で雅楽
を奏しておられます。
みなさんは二代目楽人で、諏
訪神社の祭典において永年に
わたり雅楽を奉相し祭典の厳
修に寄与した高い功績が認め
られたものであります。

木

津川に
新名所誕生

やまなみホール前木津川
河川敷の「かわまちづくり
整備事業」（国交省）と並行
して南山城村が整備を進め
ていた展望テッキが完成し、
四月十二日には保育園児と
村長がテープカットや記念
植樹をして完成を祝いまし
た。



↑「みんなで新名所の誕生をお祝い」
桜並木にて



水辺の広場や一池も完成

人事異動

平成二十四年四月一日付

【出向】袖岡 幸司

京都府自治振興課（総務課主任）

（内は前職名）